



# 平成24年3月期 第2四半期(中間期)決算短信〔日本基準〕(連結)

平成23年11月14日

上場取引所 東

上場会社名 第一生命保険株式会社

コード番号 8750 URL <http://www.dai-ichi-life.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 渡邊 光一郎

問合せ先責任者 (役職名) 収益管理部長 (氏名) 高田 久資

TEL 050-3780-3390

四半期報告書提出予定日 平成23年11月29日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有

四半期決算説明会開催の有無 : 有 (機関投資家・アナリスト向け)

(百万円未満切捨て)

## 1. 平成24年3月期第2四半期(中間期)の連結業績(平成23年4月1日～平成23年9月30日)

### (1) 連結経営成績

(%表示は、対前年中間期増減率)

	経常収益		経常利益		中間純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%
24年3月期中間期	2,469,759	9.2	60,408	△40.2	12,361	△58.0
23年3月期中間期	2,262,676	—	101,092	—	29,443	—

(注)包括利益 24年3月期中間期 △54,731百万円 (—%) 23年3月期中間期 △16,537百万円 (—%)

	1株当たり中間純利益	潜在株式調整後1株当たり中間純利益
	円 銭	円 銭
24年3月期中間期	1,252.85	1,252.78
23年3月期中間期	2,944.35	—

(注)平成22年3月期中間期においては、金融商品取引法に基づく中間連結財務諸表を作成していないため、平成23年3月期中間期の対前年中間期増減率の記載をしておりません。

### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
24年3月期中間期	32,624,265	662,743	2.0
23年3月期	32,297,862	731,835	2.2

(参考)自己資本 24年3月期中間期 652,902百万円 23年3月期 720,097百万円

## 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
23年3月期	—	—	—	1,600.00	1,600.00
24年3月期	—	0.00	—	—	—
24年3月期(予想)	—	—	—	1,600.00	1,600.00

(注)直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

## 3. 平成24年3月期の連結業績予想(平成23年4月1日～平成24年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	経常収益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	4,334,000	△5.2	168,000	106.9	37,000	93.3	3,752.32

(注)直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

平成24年3月期(通期)の連結業績予想につきましては、平成23年5月13日発表の予想数値から変更はございません。

#### 4. その他

(1) 当中間期における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 有

Tower Australia Group Limited ,  
 新規 3社 (社名) Tower Group (Australia) Pty Limited , 除外 1社 (社名)  
 Tower Australia Limited

平成23年6月1日付で、Tower Australia Group LimitedはTAL Limitedに、Tower Group (Australia) Pty LimitedはTAL Finance Pty Limitedに、Tower Australia LimitedはTAL Life Limitedに、それぞれ社名変更しております。

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無  
 ② ①以外の会計方針の変更 : 無  
 ③ 会計上の見積りの変更 : 無  
 ④ 修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数(普通株式)

	24年3月期中間期	10,000,000 株	23年3月期	10,000,000 株
① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	24年3月期中間期	127,409 株	23年3月期	139,430 株
② 期末自己株式数	24年3月期中間期	9,866,974 株	23年3月期中間期	10,000,000 株
③ 期中平均株式数(中間期)	24年3月期中間期		23年3月期中間期	

(注) 自己株式数については、株式給付信託(J-ESOP)導入に伴い設定した信託口及び第一生命保険従業員持株会専用信託が当中間期末において所有する当社株式127,409株を記載しております。

#### (個別業績の概要)

1. 平成24年3月期第2四半期(中間期)の個別業績(平成23年4月1日～平成23年9月30日)

(1) 個別経営成績

(%表示は、対前年中間期増減率)

	経常収益		経常利益		中間純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%
24年3月期中間期	2,248,357	7.4	76,124	△28.3	6,159	△82.0
23年3月期中間期	2,094,396	—	106,222	—	34,157	—

	1株当たり中間純利益
	円 銭
24年3月期中間期	624.22
23年3月期中間期	3,415.74

(注) 平成22年3月期中間期においては、金融商品取引法に基づく中間財務諸表を作成していないため、平成23年3月期中間期の対前年中間期増減率の記載をしておりません。

(2) 個別財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
24年3月期中間期	30,901,058	714,161	2.3
23年3月期	30,869,661	766,437	2.5

(参考) 自己資本 24年3月期中間期 714,011百万円 23年3月期 766,437百万円

2. 平成24年3月期の個別業績予想(平成23年4月1日～平成24年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	経常収益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	3,828,000	△11.2	178,000	125.6	32,000	88.9	3,245.25

#### ※中間監査手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく中間監査手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく中間連結財務諸表の中間監査が実施中です。

#### ※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

○添付資料の目次

1. 当中間期に関する定性的情報 .....	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報 .....	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報 .....	2
(3) 連結業績予想に関する定性的情報 .....	2
2. 中間連結財務諸表 .....	3
(1) 中間連結貸借対照表 .....	3
(2) 中間連結損益計算書及び中間連結包括利益計算書 .....	5
中間連結損益計算書 .....	5
中間連結包括利益計算書 .....	7
(3) 中間連結株主資本等変動計算書 .....	8
(4) 継続企業の前提に関する注記 .....	11

※ 当社は、機関投資家・アナリスト向け電話説明会を平成23年11月14日(月)18:30に開催する予定です。当説明会の資料については、TDnet及び当社ホームページにて開示する予定です。

## 1. 当中間期に関する定性的情報

### (1) 連結経営成績に関する定性的情報

経常収益は、保険料等収入1兆8,076億円(前年同期比8.6%増)、資産運用収益5,062億円(同10.5%増)、その他経常収益1,558億円(同11.8%増)を合計した結果、2兆4,697億円(同9.2%増)となりました。保険料等収入の増加は、当社における一時払終身保険の販売が好調であったこと、平成23年5月に完全子会社化したオーストラリアのTAL Limited(平成23年6月1日付でTower Australia Group Limitedから社名変更)の保険料収入が、完全子会社化に伴い新たに加わったことが主な要因であります。また、資産運用収益の増加は、当社の有価証券売却益が増加したことが主な要因であります。

一方、経常費用は、保険金等支払金1兆3,045億円(同3.2%増)、責任準備金等繰入額3,055億円(同12.2%増)、資産運用費用3,437億円(同66.0%増)、事業費2,289億円(同6.1%増)、その他経常費用2,266億円(同11.8%増)を合計した結果、2兆4,093億円(同11.5%増)となりました。責任準備金等繰入額の増加は、新契約の増加等に伴い当社の責任準備金繰入額が増加したことが主な要因であります。また、資産運用費用の増加は、金融環境の悪化に伴い、保有する有価証券の時価が下落したことから有価証券評価損を851億円計上したことが主な要因であります。

この結果、経常利益は604億円(同40.2%減)となりました。また、経常利益に、特別利益、特別損失、契約者配当準備金繰入額、法人税及び住民税等、法人税等調整額並びに少数株主損失を加減した中間純利益は123億円(同58.0%減)となりました。なお、TAL Limitedの子会社化に伴う段階取得に係る差益231億円を特別利益に計上しております。また、大井事業所の土地・建物の譲渡方針の決定に伴う減損損失249億円を特別損失に計上しております。

### (2) 連結財政状態に関する定性的情報

当連結中間会計期間末の資産合計は、32兆6,242億円(前連結会計年度末比1.0%増)となりました。

主な資産構成は、有価証券が25兆7,919億円(同0.8%増)、貸付金が3兆4,554億円(同4.8%減)、有形固定資産が1兆2,624億円(同2.6%減)であります。有価証券は、株価の下落や株式の売却により株式残高は減少したものの、国内金利の低下により公社債の時価が増加したこと、及び公社債への投資を増加させたこと等により、前連結会計年度末比で増加いたしました。

負債合計は、前連結会計年度末比で増加し、31兆9,615億円(同1.3%増)となりました。また、負債の大部分を占める保険契約準備金は30兆780億円(同1.5%増)となりました。

純資産合計は、6,627億円(同9.4%減)となりました。純資産合計のうち、その他有価証券評価差額金は、株価の下落や円高等により、1,976億円(同17.3%減)となりました。

### (3) 連結業績予想に関する定性的情報

平成24年3月期通期業績予想につきましては、平成23年5月13日発表の予想数値から変更はございません。

2. 中間連結財務諸表  
(1) 中間連結貸借対照表

(単位:百万円)

	前連結会計年度 (平成23年3月31日)	当中間連結会計期間 (平成23年9月30日)
<b>資産の部</b>		
現金及び預貯金	257,204	269,088
コールローン	244,700	278,700
買入金銭債権	291,115	291,430
金銭の信託	62,838	67,547
有価証券	25,597,752	25,791,910
貸付金	3,627,991	3,455,495
有形固定資産	1,296,105	1,262,485
無形固定資産	104,173	201,083
再保険貸	45,764	45,463
その他資産	288,336	465,656
繰延税金資産	477,206	487,142
支払承諾見返	17,826	19,695
貸倒引当金	△12,928	△11,434
投資損失引当金	△223	—
資産合計	32,297,862	32,624,265
<b>負債の部</b>		
保険契約準備金	29,641,967	30,078,059
支払備金	198,841	246,300
責任準備金	29,039,453	29,440,850
契約者配当準備金	403,671	390,908
再保険借	1,278	10,728
社債	149,129	145,880
その他負債	1,126,459	1,065,903
退職給付引当金	420,067	432,690
役員退職慰労引当金	3,168	2,670
時効保険金等払戻引当金	1,100	987
特別法上の準備金	80,596	80,668
価格変動準備金	80,596	80,668
繰延税金負債	798	9,956
再評価に係る繰延税金負債	123,635	114,280
支払承諾	17,826	19,695
負債合計	31,566,027	31,961,521

(単位:百万円)

	前連結会計年度 (平成23年3月31日)	当中間連結会計期間 (平成23年9月30日)
純資産の部		
資本金	210,200	210,200
資本剰余金	210,200	210,200
利益剰余金	149,007	161,581
自己株式	△20,479	△18,738
株主資本合計	548,928	563,242
その他有価証券評価差額金	238,886	197,669
繰延ヘッジ損益	1,243	△241
土地再評価差額金	△65,194	△81,667
為替換算調整勘定	△3,765	△26,101
その他の包括利益累計額合計	171,169	89,659
新株予約権	—	150
少数株主持分	11,737	9,691
純資産合計	731,835	662,743
負債純資産合計	32,297,862	32,624,265

(2) 中間連結損益計算書及び中間連結包括利益計算書  
中間連結損益計算書

(単位：百万円)

	前中間連結会計期間 (自 平成22年4月1日 至 平成22年9月30日)	当中間連結会計期間 (自 平成23年4月1日 至 平成23年9月30日)
経常収益	2,262,676	2,469,759
保険料等収入	1,665,198	1,807,604
資産運用収益	458,014	506,263
利息及び配当金等収入	338,204	343,929
金銭の信託運用益	1,598	8,924
売買目的有価証券運用益	301	—
有価証券売却益	101,745	146,404
有価証券償還益	985	340
金融派生商品収益	14,842	4,102
貸倒引当金戻入額	—	1,468
投資損失引当金戻入額	—	171
その他運用収益	336	921
その他経常収益	139,463	155,891
経常費用	2,161,584	2,409,351
保険金等支払金	1,263,834	1,304,534
保険金	385,195	384,952
年金	213,007	230,645
給付金	265,851	251,748
解約返戻金	317,450	329,864
その他返戻金等	82,329	107,323
責任準備金等繰入額	272,240	305,555
責任準備金繰入額	267,221	300,753
契約者配当金積立利息繰入額	5,019	4,801
資産運用費用	207,034	343,736
支払利息	5,701	9,902
売買目的有価証券運用損	—	3,709
有価証券売却損	61,837	56,949
有価証券評価損	6,867	85,103
有価証券償還損	1,033	1,857
為替差損	13,099	25,038
貸付金償却	447	116
賃貸用不動産等減価償却費	7,397	7,479
その他運用費用	16,915	17,743
特別勘定資産運用損	93,734	135,837
事業費	215,819	228,915
その他経常費用	202,655	226,608
経常利益	101,092	60,408

(単位:百万円)

	前中間連結会計期間 (自 平成22年4月1日 至 平成22年9月30日)	当中間連結会計期間 (自 平成23年4月1日 至 平成23年9月30日)
特別利益	3,860	23,575
固定資産等処分益	3,176	458
貸倒引当金戻入額	75	—
投資損失引当金戻入額	480	—
償却債権取立益	127	—
段階取得に係る差益	—	23,116
その他	0	0
特別損失	14,468	30,037
固定資産等処分損	583	542
減損損失	2,784	29,308
価格変動準備金繰入額	7,026	72
資産除去債務会計基準の適用に伴う影響額	4,074	—
その他	0	114
契約者配当準備金繰入額	41,249	34,796
税金等調整前中間純利益	49,235	19,149
法人税及び住民税等	5,648	3,487
法人税等調整額	14,784	5,498
法人税等合計	20,432	8,985
少数株主損益調整前中間純利益	28,802	10,163
少数株主損失(△)	△640	△2,198
中間純利益	29,443	12,361

中間連結包括利益計算書

(単位:百万円)

	前中間連結会計期間 (自 平成22年4月1日 至 平成22年9月30日)	当中間連結会計期間 (自 平成23年4月1日 至 平成23年9月30日)
少数株主損益調整前中間純利益	28,802	10,163
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△45,028	△40,827
繰延ヘッジ損益	△791	△1,484
土地再評価差額金	—	△34
為替換算調整勘定	△407	△22,236
持分法適用会社に対する持分相当額	887	△312
その他の包括利益合計	△45,340	△64,895
中間包括利益	△16,537	△54,731
(内訳)		
親会社株主に係る中間包括利益	△16,049	△52,708
少数株主に係る中間包括利益	△487	△2,022

## (3) 中間連結株主資本等変動計算書

(単位: 百万円)

	前中間連結会計期間 (自 平成22年4月1日 至 平成22年9月30日)	当中間連結会計期間 (自 平成23年4月1日 至 平成23年9月30日)
<b>株主資本</b>		
資本金		
当期首残高	210,200	210,200
当中間期変動額		
当中間期変動額合計	—	—
当中間期末残高	210,200	210,200
資本剰余金		
当期首残高	210,200	210,200
当中間期変動額		
自己株式の処分	—	△451
利益剰余金から資本剰余金への振替	—	451
当中間期変動額合計	—	—
当中間期末残高	210,200	210,200
利益剰余金		
当期首残高	138,318	149,007
当中間期変動額		
剰余金の配当	△10,000	△15,776
中間純利益	29,443	12,361
利益剰余金から資本剰余金への振替	—	△451
土地再評価差額金の取崩	1,197	16,439
その他	3	0
当中間期変動額合計	20,644	12,573
当中間期末残高	158,963	161,581
自己株式		
当期首残高	—	△20,479
当中間期変動額		
自己株式の処分	—	1,740
当中間期変動額合計	—	1,740
当中間期末残高	—	△18,738
株主資本合計		
当期首残高	558,718	548,928
当中間期変動額		
剰余金の配当	△10,000	△15,776
中間純利益	29,443	12,361
自己株式の処分	—	1,289
利益剰余金から資本剰余金への振替	—	—
土地再評価差額金の取崩	1,197	16,439
その他	3	0
当中間期変動額合計	20,644	14,314
当中間期末残高	579,363	563,242

(単位:百万円)

	前中間連結会計期間 (自 平成22年4月1日 至 平成22年9月30日)	当中間連結会計期間 (自 平成23年4月1日 至 平成23年9月30日)
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金		
当期首残高	462,289	238,886
当中間期変動額		
株主資本以外の項目の当中間期変動額(純額)	△45,255	△41,216
当中間期変動額合計	△45,255	△41,216
当中間期末残高	417,034	197,669
繰延ヘッジ損益		
当期首残高	△2,008	1,243
当中間期変動額		
株主資本以外の項目の当中間期変動額(純額)	△791	△1,484
当中間期変動額合計	△791	△1,484
当中間期末残高	△2,800	△241
土地再評価差額金		
当期首残高	△63,540	△65,194
当中間期変動額		
株主資本以外の項目の当中間期変動額(純額)	△1,197	△16,473
当中間期変動額合計	△1,197	△16,473
当中間期末残高	△64,738	△81,667
為替換算調整勘定		
当期首残高	△3,069	△3,765
当中間期変動額		
株主資本以外の項目の当中間期変動額(純額)	553	△22,335
当中間期変動額合計	553	△22,335
当中間期末残高	△2,515	△26,101
その他の包括利益累計額合計		
当期首残高	393,671	171,169
当中間期変動額		
株主資本以外の項目の当中間期変動額(純額)	△46,690	△81,509
当中間期変動額合計	△46,690	△81,509
当中間期末残高	346,980	89,659
新株予約権		
当期首残高	—	—
当中間期変動額		
株主資本以外の項目の当中間期変動額(純額)	—	150
当中間期変動額合計	—	150
当中間期末残高	—	150

(単位:百万円)

	前中間連結会計期間 (自 平成22年4月1日 至 平成22年9月30日)	当中間連結会計期間 (自 平成23年4月1日 至 平成23年9月30日)
<b>少数株主持分</b>		
当期首残高	11,804	11,737
<b>当中間期変動額</b>		
株主資本以外の項目の当中間期変動額(純額)	△499	△2,046
当中間期変動額合計	△499	△2,046
当中間期末残高	11,304	9,691
<b>純資産合計</b>		
当期首残高	964,193	731,835
<b>当中間期変動額</b>		
剰余金の配当	△10,000	△15,776
中間純利益	29,443	12,361
自己株式の処分	—	1,289
利益剰余金から資本剰余金への振替	—	—
土地再評価差額金の取崩	1,197	16,439
その他	3	0
株主資本以外の項目の当中間期変動額(純額)	△47,190	△83,406
当中間期変動額合計	△26,545	△69,092
当中間期末残高	937,648	662,743

(4) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。